

# れきはく NEWS

vol.40  
2017.JUN

島根県立古代出雲歴史博物館の  
旬な話題や情報をお届けします

Shimane Museum of Ancient Izumo



## CONTENTS

- 2 石見銀山展 —銀が世界を変えた—
- 4 石見銀山世界遺産登録10周年  
オランダ茶会in石見銀山
- 5 展覧会通信
- 6 れきはく通信
- 7 古代文化センター通信／館長新任あいさつ
- 8 夏はれきはくで学ぼう！

The World Heritage Registration 10th Anniversary  
IWAMI GINZAN Silver Mine  
Silver Changed the World

特別展  
石見銀山資料館

●特別展

世界とつながる日本



●開館10周年記念特別展  
銀でつながる世界  
古代出雲歴史博物館

2館同時開催

世界遺産登録10周年記念

# 石見銀山展

銀が世界を変えた



2館同時開催

世界遺産登録10周年記念

# 石見銀山展

銀が世界を変えた

平成29年 7月14日(金) - 9月3日(日)



## 世界遺産登録10周年記念

# 石見銀山展

### — 銀が世界を変えた —

大航海時代、石見銀山の銀はアジアを席卷し、経済や文化のグローバル化を生み出しました。世界は銀によってひとつなぎになったのです。その原動力となった「石見銀山」の世界遺産登録10周年を記念する展覧会を開催します。

「会場」古代出雲歴史博物館

日本初公開となる南米ボリビアの銀製品や絵画をはじめ、大航海時代の国内外の作品、石見銀山ゆかりの品々などを通して、世界へ影響を与えた石見銀山の歴史的価値とその魅力を紹介します。

## 第1章 銀が世界を丸くした

紀元前より人類は、自然界の鉱石から銀を取り出し、様々なものに活用してきました。そして、大航海時代に入り銀を基軸にして、世界が結びついていった過程を紹介します。

〈主な展示品〉

- 【重要文化財】南蛮屏風 [南蛮文化館所蔵]
- 大山猫と鶏形リュトン [MIHO MUSEUM所蔵]



【重要文化財】南蛮屏風 左隻

## 第2章 富の山 セロ・リコ — 世界遺産 ポトシ銀山 —

世界史上、最も銀が活躍した時代、ボリビアのポトシ銀山は、西洋の社会・経済・文化に大きなインパクトを与えました。日本初公開となる銀器や絵画作品からポトシ銀山の歴史を紹介します。



León coronado (王冠をつけたライオン)

〈主な展示品〉

- León coronado (王冠をつけたライオン) [CASA NACIONAL DE MONEDA所蔵]
- マリア像 [CASA NACIONAL DE MONEDA所蔵]

## 第3章 銀の山 — 世界遺産 石見銀山 —

石見銀山は、大航海時代に最盛期を迎え、産出された銀は東洋の社会・経済・文化に大きな影響を及ぼしました。戦国大名による銀山争奪戦や繁栄の歴史を、銀山ゆかりの品々を通して紹介します。

〈主な展示品〉

- 【重要文化財】銀小札白糸威胴丸具足 [厳島神社所蔵]
- 【重要文化財】辻が花染丁子文道服 [大田市清水寺所蔵・京都国立博物館寄託]



【重要文化財】  
銀小札白糸威胴丸具足

## 第4章 シルバーラッシュと桃山ルネサンス

石見銀山のシルバーラッシュは、平和な時代の到来と空前の経済発展をもたらし、繁栄の時代を迎えた日本では桃山文化が開花しました。絢爛豪華な美術工芸品を通して桃山ルネサンスを紹介します。

〈主な展示品〉

- 【重要文化財】阿国歌舞伎図屏風 [京都国立博物館所蔵]
- 洛中洛外図屏風 [島根県企業局所蔵・島根県立美術館寄託]



洛中洛外図屏風 右隻

会期

平成29年7月14日(金)～9月3日(日) [2館同時開催]

会場

### 古代出雲歴史博物館

◎開館時間／9:00～18:00

◎会期中の休館日／7月18日(火)、8月8日(火)

出雲市大社町杵築東99-4 TEL 0853-53-8600

http://www.izm.ed.jp

### 石見銀山資料館

◎開館時間／9:00～17:00

◎会期中の休館日はありません

大田市大森町ハ51-1 TEL 0854-89-0846

http://fish.miracle.ne.jp/silver/

◎主催／「石見銀山遺跡とその文化的景観」世界遺産登録10周年記念展実行委員会  
島根県立古代出雲歴史博物館・石見銀山資料館

前売券販売中(7月13日(木)まで)

2館共通前売券：1,000円

小中高生  
観覧無料



【重要文化財】  
辻が花染丁子文道服  
[大田市清水寺所蔵・  
京都国立博物館寄託]  
※古代出雲歴史博物館にて展示

## 「会場」石見銀山資料館

銀山をビジュアルで表現した絵巻や模型、異国情緒あふれる舶来品などを通して、石見銀山が江戸日本の確立に果たした歴史的な役割を紹介します。



銀山模型

### 第5章 鉱山王国

鉱物資源に恵まれる日本が、石見銀山の発見を契機として鉱山の産業化を確立し、16～18世紀にかけて日本独自の技術や生産体制のもと、世界有数の鉱業立国となったことを紹介します。

〈主な展示品〉

●石見銀山絵巻 [個人所蔵]

●鉱山模型 [個人所蔵]

### 第6章 外国船の来航

「鎖国」により海外に向けた窓口は制限された後も、銀貿易により構築されたネットワークをもとに、長崎出島などを通じて海外から多種多様な貿易品がもたらされたことを紹介します。

〈主な展示品〉

●キリシタン魔鏡  
[西南学院大学博物館所蔵]

●三星梶葉入糸巻太刀拵  
[松浦史料博物館所蔵]



三星梶葉入糸巻太刀拵

### 第7章 和洋混交

海外の文物を受け入れる中で新たな学問が広まるとともに、輸入品の国産化が進み、島根県をはじめ各地で特産品が誕生した姿を紹介します。

〈主な展示品〉

●解体新書  
[松江赤十字病院所蔵]

●ヒポクラテス図  
[個人所蔵]



ヒポクラテス図

### 第8章 徳川の平和 —大江戸博覧会—

日本の伝統的なモノづくりが、西洋からもたらされた文物と融合し、独自の技術やデザインが生み出されて発展していったことを紹介します。

〈主な展示品〉

●エレキテル [個人所蔵]

●気球なつめ [個人所蔵]



気球なつめ

## ◎世界とつながる日本

石見銀山の世界遺産登録に向けた動きが始まったのは、今から約20年前のことです。当時はまだ「世界遺産」という言葉自体があまり一般的なものでなく、また石見銀

山がその世界遺産にふさわしい価値を持つものなのかも明確ではありませんでした。そこで島根県と大田市では多くの方の協力のもと、石見銀山の持つ価値を顕在化していく調査・研究を行うとともに、その成果をシンポジウムや講演会などを通じて発信し、広く理解を深めていただきながら登録に向けた環境を整えていきました。

世界遺産登録についての審議が行われる世界遺産委員会に先立つ、「イコモス勧告」においては、日本の登録候補遺産としては初めての「登録延期」勧告も出されるなど、厳しい局面もありましたが、「自然との共生」というキーワードも駆使しながら、「登録延期」勧告を覆して登録が決定されたことを記憶に留めておられる方もいるのではないかと思います。

# 石見銀山 世界遺産登録 10周年

あれから10年。登録直後の一時期に比べると確かに観光客の数は減少してきていますが、海外からの視察や大学等の研修の場としての利用が増えるなど、現地ではこれまではな

い視点での活用が始まっています。また、大森や温泉津の町並みの整備、歴史的建造物の修理、公開範囲の拡大なども進められ、魅力も増してきています。

7月2日で10周年を迎えるこの節目の年に、石見銀山の価値と魅力をさらに発信するべく、地元大田市を中心として様々な事業も計画・実施されています。

古代出雲歴史博物館と石見銀山資料館で開催される「石見銀山展」を観覧後、「石見銀山の今」を体感しに現地を訪れてみてはいかがでしょうか。



## オランダ茶会 in 石見銀山

◆日時／平成29年7月30日(日)  
10:00～16:00(時間指定あり)

◆会場／重要文化財 熊谷家住宅、水仙の店(大田市大森町)

【茶券】1枚13,000円

濃茶席・薄茶席・点心席・入館券付  
(石見銀山資料館・重要文化財 熊谷家住宅)  
※茶券は事前申込みが必要です。



平戸オランダ商館

16世紀、石見銀山と平戸は銀を通じて結びついていました。平戸にはオランダなどの商館が設置され、長崎とともに海外に開かれた窓口としてさまざまな物が行き交いました。このような交流において重要な役割を果たしたのが、平戸藩の大名・松浦家です。その松浦家には、江戸時代に平戸のお菓子の絵を書き留めた『百菓之図』が残されていました。

今回、この『百菓之図』にインスピレーションを受けたオランダ人のクリエイターによってデザインされたお菓子と平戸焼(三川内焼)の器を使用したオランダ茶会を、平戸藩松浦家により創始された大名茶鎮信流によって石見銀山で開催することになりました。

また、当日は鎮信流宗家松浦章氏による献茶式も行われます。江戸時代の風情を残す石見銀山で、日本の伝統文化と革新的な東西の文化交流を感じてみませんか。

●お問い合わせ・お申し込み／重要文化財 熊谷家住宅 TEL0854-89-9003

オランダ×日本。  
異文化が共鳴しあい  
時を超えて甦った  
“平戸菓子”で  
おもてなし。



天国への道



望遠鏡



平戸の海塩



月光の反射



星屑



空気の痕跡

特 別 展

# 島根の仏像

— 平安時代のほとけ・人・祈り —

◎開催期間

平成29年10月20日(金)～12月4日(月)

《45日間》

■会期中の休館日／11月21日(火)

◎会場

島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室

今年の秋の特別展、テーマは「島根の仏像」です。

「神々の国」という言葉で紹介されることが多い島根ですが、実は、仏像が数多く伝わっている土地でもあります。これまで当館や前身の島根県立博物館では、県内の優れた仏像を、展覧会などで継続的に紹介してきました。

こうした「仏像」は、そもそも「人」が「ほとけ」へ「祈り」を捧げる、その営みのなかで造られます。したがって島根に優れた仏像が数多く伝わっていることは、かつてこの地に、「ほとけ」と「人」をめぐる豊かな「祈り」の営みがあったことを意味します。それはいったいどのようなもので、仏像の姿にどのように表れているのでしょうか。

この展覧会では、特に個性的な仏像が多く造られた平安時代に着目し、仏像の魅力を改めてご紹介するとともに、仏像の持つ意味にも迫りたいと考えています。国の重要文化財に指定されている著名な仏像や、これまで広く紹介されてこなかった知られざる仏像まで、数十体が歴博に集結する予定です。ご期待ください。



▲【重要文化財】四天王立像（持国天）  
（出雲市・万福寺所蔵）



◀十一面観音菩薩坐像  
（雲南市・長安寺所蔵〔金成地区観音堂伝来〕）

## 新館蔵品紹介

飯南町立石たたら  
の製鉄関連資料

古代出雲歴史博物館 交流普及課長  
角田 徳幸

飯石郡飯南町小田に所在する立石たたらは、同町下来島を本拠とした永田家、雲南市吉田町の田部家などが経営したたたらです。幕末には永田家により操業されていたことが確認でき、明治時代に入ると経営者の交代はしばしばありましたが、明治10年代までは存続していたようです。その後、日露戦争開戦前後の海軍需要を背景として、田部家が1901（明治34）～1906（明治39）年まで6年間操業しました。

立石たたらむらげの製鉄関連用具や金屋子神図などの資料は、村下（技師長）であった戸谷家に伝わったもので、『赤来町史』（1972年刊）には一部の写真が掲載されています。古代出雲歴史博物館は、昨年度、これらの資料を同家より一括して寄贈を受けました。

寄贈資料は、金屋子神社に納められていた信仰関係資料、たたら操業に使用された製鉄関係資料、戸谷家関係資料よりなります。信仰関係資料は、銑鉄製の神像・鳥居・燭台、金屋子神社の扁額、祭礼・造営に伴う木札があります。神像は、銑鉄を鑄型に流し込んで作った素朴なもので、金屋子神社で祭られました。製鉄関係資料は、製鉄炉の構築に伴う築炉用具・送風装置である天秤鞆の部材・水車鞆・操業用具があります。水車駆動の鞆は、田部家が操業を再開した1901年に人力式の天秤鞆に替えて導入されたものです。戸谷家関係資料には日本刀・袴・袴と金屋子神図があります。金屋子神図は写しと見られますが、たたら製鉄の技術者が金屋子神をどのように信仰したのかをうかがわせる資料です。

立石たたらむらげの製鉄関連資料は、製鉄炉の築造・操業から金屋子信仰まで、たたら吹製鉄の全体像を具体的に示すものです。奥飯石は、出雲を代表する鉦経営者であった永田家や田部家がたたら製鉄を行った地域ですが、その実態が窺える資料はこれまであまり知られていませんでした。立石たたらむらげの製鉄関連資料は、奥飯石におけるたたらむらげの実態を物語るものと言えます。



銑鉄製の金屋子神像



水車駆動の鞆



金屋子神図

## 新規研究事業ならびに『写真集 出雲国風土記紀行』の紹介

島根県古代文化センターでは、古代出雲歴史博物館での企画展示の内容に関するテーマ研究を実施しています。今年度開始のテーマ研究のうち1本を紹介します。

### ◎山陰弥生文化の形成過程(研究期間:平成29~31年)

山陰地方は、隠岐諸島や島根半島、大山といったランドマークを有し、文化の先進地である大陸・半島から日本海を通じての影響を受けやすい地理的環境にあります。特に、縄文時代が終わり弥生時代がはじまる時には、在来の縄文人と大陸や九州などから移住してきた人々との交流が知られています。なかでも、弥生土器はどのように九州から伝わったのか、水稻耕作をはじめとした生業にはどのようなものがあつたのか、その時期は西暦で言うといつ頃になるのかなど、いろいろな議論がなされています。そして近年、島根県では大田市古屋敷遺跡など、縄文時代から弥生時代への移行期の良好な遺跡が発掘調査されており、まさに研究を進めるための条件が整ってきたといえます。

このような現状を踏まえ、本テーマ研究では、考古学に比べ、遺物や遺跡の理化学的な分析(たとえば、土器や木器の年代を決定する、土中に残った古い花粉から遺跡周辺の環境を推定するなど)をおこないます。そして、山陰地域ではどのような過程で弥生文化が形成されていったのかを、人類社会が農耕社会に移行していく時の一つの類型として、他地域と相互に比較しながら検討します。

■主担当: 専門研究員 原田敏照



五丁遺跡出土の弥生土器(大田市)

### ◎『写真集 出雲国風土記紀行』の刊行

『出雲国風土記』には出雲に伝えられてきた神話をはじめとして、山や川、海辺や人々の暮らしぶりも記されています。古代文化センターでは、『出雲国風土記』に記され、現代に受け継がれたこれら出雲の風景を美しい写真で紹介した本を刊行しました。A4版カラー98頁。税別1,500円。出版元 山

陰中央新報社。歴博ミュージアムショップ、山陰両県の主要な書店で販売されていますが、島根県文化財愛護協会(TEL 0852-22-6612)でも実費販売しています。



## 館長新任あいさつ

のたび、当館の館長に就任いたしました、今岡と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、急速に少子・高齢化が進行する日本には、既に総人口が減少する社会が到来しています。そのような中、島根県では、地方創生を目指す総合戦略を策定し、「子育てしやすく活力ある地方の先進県しまね」の実現に向け、全力で取り組んでいるところですが、中でも、この地域の将来を担う人材をいかに確保していくかは極めて重要です。

島根で暮らしたいという人を増やしていくためには、島根の魅力を外に広く発信することなどによって、県外からの、いわゆるU Iターンを進めるほか、島根で生まれ育った子どもたちに、「ふるさとしまね」についてよく学んでもらうことを通じて、この地域で暮らすことを積極的に選択してもらうことが大切です。

## 古代出雲歴史博物館 館長 今岡 充

さて、昭和59年に荒神谷遺跡(出雲市斐川町)から出土した358本もの銅剣は、それまで全国で出土した銅剣の総数を上回るものでした。また、平成8年には加茂岩倉遺跡(雲南市)から39個もの銅鐸が、平成12年には出雲大社境内遺跡から3本束ねの巨大柱が発見されるなど、私たちが住むこの地域を舞台とした壮大な神話や古代文化の底知れぬスケールにあらためて注目が集まりました。

これらに代表される島根の古代文化は、島根のレゾナントル(存在意義)を国内や世界に示す上で極めて大切な財産です。国宝・重要文化財を含む貴重な文化財の保存や展示・活用を目的とする当館は、地方に所在する博物館ではありますが、第一級の博物館として広く社会に貢献するよう、これからも努力を続けていきたいと思っております。皆様のさらなるご指導やご支援をお願いいたします。

# 夏はれきはくで学ぼう!

藍染めに挑戦!

7.30

(日)

〈れきはく夏の体験楽〉

## れきはく夏まつり

時間 10:00~15:00

場所 古代出雲歴史博物館  
風土記の庭・体験工房

※ハンカチはイメージです。

### \*ミニ丁銀をつくろう

随時受付

金属をとかして、オリジナルの丁銀をつくろう!

参加費 300円

※金属は低融点合金で、銀ではありません。

出雲農林高校・古代出雲歴史博物館 連携事業

### \*出雲農林高校がやってくる!

「移動動物園」「出農ショップ」がオープン!

「出農太鼓」のパフォーマンスもあるよ!

藍染体験

100枚限定

### \*藍染でオリジナルハンカチをつくろう

参加費 400円

### \*出張博物館 県内外の博物館が大集合!

### \*キッズわくわく体験コーナー

※内容は変更になる場合があります。



夏休みの一日を  
れきはくで楽しもう!

小学校4年生~6年生対象

8.6

(日)

〈夏休み子ども歴史教室〉

## むかしの道を歩いてみよう!

江戸時代の絵図と比べながら、  
出雲大社近くのむかしの道をお歩いてみよう!

時間 10:00~12:00

場所 出雲大社周辺

参加費 無料

定員 20名 ※保護者同伴可

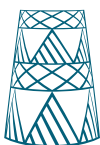
申込先 電話またはホームページのイベント参加フォームで  
お申し込みください。

※詳しくは古代歴史博物館までお問い合わせください。



天保杵築物絵図(部分)

発行/平成29年6月



島根県立古代出雲歴史博物館  
Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4  
TEL.0853-53-8600(代) FAX.0853-53-5350  
URL: <http://www.izm.ed.jp> E-mail: [contact@izm.ed.jp](mailto:contact@izm.ed.jp)  
開館時間 9:00~18:00(11月~2月は、9:00~17:00)



マスコットキャラクター  
雲太くん



マスコットキャラクター  
出雲ちゃん